

県政ネットワーク

県政ネットワーク発行者
 発行人 田中ただみつ
 所在地 〒633-2166
 宇陀市大字陀
 迫間51-3
 電話 0745-83-1188
 F A X 0745-83-3272

れるものです。そのうち奈良県からの認定額は336万円です。上回った額は、自己負担で会計処理しました。今年のこの政務報告は県議会議長に提出し、議会事務局が決められた日に公表しています。

また、平成27年度4月分についても政務活動費の報告を求められ、提出しました。4月には、県議会議員選挙があったため、特別厳しいルールが科されています。

選挙後の臨時議会—議会内役員改選—

求められている。

審議委員としての都市計画審議委員は、今回、他の議員が就任した。

議員の収支を報告

平成26年議員個人の収支・資産報告

県議会議員は、昨年の所得と他からの収入源を明らかにするための報告をしています。平成26年の田中ただみつ議員の所得は、県議会議員としての所得と年金の合計額でした。

また、土地、建物や株券等の資産については、詳しく内訳を記入することになっていますが、報告すべき資産はありません。前年と同じでした。

政治資金収支報告

田中ただみつ後援会は、政治資金規正法に基づく収支の報告を行いました。田中ただみつ議員の政治団体は「田中ただみつ後援会」です。

平成26年の田中ただみつ後援会の収支は、下表のとおりです。

平成26年 収入総額	4,168,741	(円)
平成26年 支出総額	3,722,744	
平成27年へ繰越	445,997	

報告は奈良県選挙管理委員会に提出し、毎年公表されています。主な支出項目は

人件費	1,105,900
光熱水費	95,934
備品消耗品費	882,451
事務所費	458,038
組織活動費	999,221
機関紙誌の発行事業費	127,500
調査研究費	53,700
合計	3,722,744

政務活動費報告

田中ただみつ議員の平成26年度使用金額は、

経費項目	支出額
調査研究費	216,018
研修費	225,356
広聴広報費	3,094,586
資料作成費	244,103
資料購入費	271,159
事務所費	457,088
事務費	513,203
人件費	1,250,464
合計	6,271,977

政務調査費は議員の政務活動を行う上で、必要な経費を公費でまかなうこと認めると決められ、支出の目的が合致し、決められた枠内での充当が認めら

統一地方選挙 選挙結果

大きな観点から見ると、奈良県議会議員選挙は維新の党の影響を大きく受けました。維新の党で当選された5名方は、奈良県西部の選挙区（奈良市、生駒市、香芝市、北葛城郡、吉野郡）であり、大阪の強い影響下にあったといえます。

宇陀市・宇陀郡選挙区においては、田中惟允議員は、

市・村	得票数
宇陀市	8,806
曾爾村	787
御杖村	868
合計	10,461

1万票を超える、得票をいただきました。得票数の重さに責任の大きさを感じています。

平成28年度政府予算編成に関する提案・要望会議に参加

奈良日航ホテルで説明会が開かれた。

理事者側から知事をはじめ各部課長、市長会の竹内市長をはじめ各市長、各町村長が出席しました。聞き取る側として、奈良県選出各衆参国議員が出席し、来年度の、国の予算編成準備を進めるに当たり、地元国議員からの各省庁へ援護射撃をしていただくための会議でした。県議会議員も理事者と一緒に予算獲得への運動でした。

第9回紀伊半島三県議会 交流会議



尾鷲市にある熊野古道センターで開催された会議に参加しました。奈良県からは中村議長をはじめ、7議員と事務局が参加。会議では、昨年の「リニア中央新幹線の全線同時着工の実現」要望についての報告が行われた。次に、本年度議題の、①観光振興について、②林業・木材産業振興について、③大規模地震対策の推進について、意見交換がなされました。最後に、三議題について、各議長と三重県議長が会議まとめを行い、全体会議で了承されました。来年は奈良県で行われる予定です。

5月臨時県議会

田中惟允議員の平成27年度の役割

- 常任委員会 文教くらし委員会委員
- 特別委員会 副委員長 南部・東部振興対策特別委員会
- 県議会 意見書調整会議委員
- 行政審議会 奈良県環境審議会委員

5月14日からの選挙後初議会では、議場における議席指定や、役員選任等、議会の構成が行われた。

今議会の役員構成は、自民党奈良を中心とするグループが主導権をとることになった。田中ただみつ議員の所属する自由民主党会派は、議長等の役職を担うことに至らなかった。



議席

本会議場内で、田中ただみつ議員の座席位置は、議長席に向かって左側、前から2段目、3人並びの真ん中。今までの席から、一席左へ移動したことになりました。テレビの中継の時には、ご注目ください。毎回のことながら、役員構成をする議会は、本会議開催に向けての議会運営委員会や議会事務局の準備もあり、今回も夜までかかることになりました。今回の議席には、維新の党所属議員が5名加わったため、大幅な移動となった。

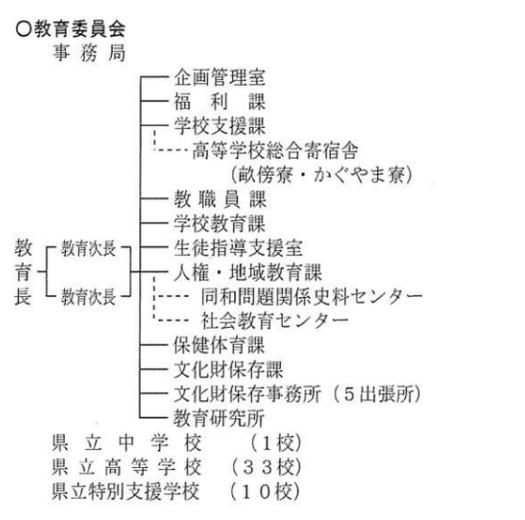
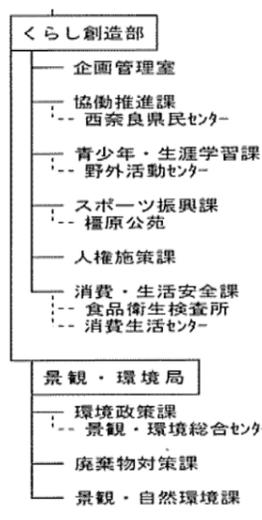
環境審議会委員に

改選前に引き続き環境審議会委員に選ばれた。環境審議会は、環境アセスメントを求められる開発についてなど審議してきた。次の審議会のテーマは、重販の産業廃棄物最終処分場の拡張に関して意見が

県議会報告

文教くらし委員会

平成二十七年七月二日文教くらし委員会が開かれました。この委員会は、くらし創造部及び教育委員会の所管に属する事務に関する事を対象として審議を行う委員会です。行政の、それぞれ各理事側の対象は、左の組織図になります。



くらし創造部関係の課題である、宇陀市多田にある産業廃棄物最終処分場環境問題に関しては、すでに幾度も地元意向を奈良県にとりつぎ、対話集会を重ねています。田中ただみつ委員は、文教くらし委員会において、片親家庭、貧困家庭の生徒の就学支援について対策を求めます。

2、岡議員の指摘に関連して、学校の授業料は個々の家庭では必要ないが、授業料外の各家庭の負担がどの程度あるのかデータがあればお示しされたい。なければ、調

議員 田中ただみつ 文教くらし委員会で発言

3、私学助成に関し、運用は総務部で行われている。学校教育については、教育委員会として、一元的な教育に対する対応がなされてしかるべきと思うが、お考え方をまとめていただきたい。

以上の3点について、答弁の即答を求めず、今後の論議の中で回答されるよう要望しました。

文教くらし委員会 県内調査

七月二十四日、文教くらし委員会は、県内調査に現場へ赴きました。一箇所目は、県立奈良西養護学校、一学級の定数は、六人としているが、重度によって三人、八人学級で運営を行っています。他の建設時期の古い県立の養護学校の中には、空調設備の整っていない教室があることから、各養護学校の先生からも説明を受けたという希望を申し入れ、訪問することにしました。

次に、幼稚園と保育所を一元的に運営する施設として新しく建てられた平群町の幼保一体型施設「平群ゆめさとこども園」が今年度から開設されたので、現地調査を行いました。建物内は明るく、廊下が広く、子どもたちの動きやすそうなつくりになっていました。地



奈良西養護学校



平群ゆめさとこども園

域性があるのでしょいか子どもを迎えに来る親の駐車場が広く取られていました。入園退園児には乗用車が百台ほどが出入りするそうです。

南部・東部振興対策特別委員会

六月十七日、特別委員会が開催されました。国中委員長が挨拶をした後、理事者側の自己紹介が行われ、南部東部振興監、農林部長、県土マネジメント部長が関係者を紹介しました。新委員会構成のため、平成二十七年主要施策の概要について、そして、農林部長から(公益財団法人)奈良県林業基金の解散及び債務整理について報告が行われました。林業基金については、分取造林を進めてきたが、今日の木材価格が最盛期の十分の一以下に低迷している。当初の予定収益を上げることはできず、他府県では林業基金としての役割を果たすことが困難であるとの判断から、林業基金の清算が進められてきた。この度、奈良県林業基金を清算することにした。残念ながら契約をした当事者には、資産の売却ができて出資額の数パーセント程度が戻ることになる予測です。このようになる原因は根本的な話ですが、私たちの生活する住宅が工場で製造される商品として販売されるようになったこと。公共の建造物は、不燃材で建築する制度になったこと、外国からの木材輸入自由化により、木材価格が長期にわたる凋落し続けたことによるものです。

今日、木造の多層階(二階以上)の木造建造物も認められることになりましたが、それ

意見書調整会議

選挙前に引き続き、意見書調整会議のメンバーとなりました。

今議会に提案された意見書案は七件。政党色を前面に打ち出し表現した安全保障関係の意見書は、意見が不一致で提出しないことになりました。そして、一件は労働者派遣法が改正され国の制度が固まったため提案者から取り下げられました。会議では、提案された各会派と他の会派による意見書の内容確認や主張の違いを調整する意見の交換が行われます。

各会派によって合意された意見書は、本会議で提案され、全会一致で議決されます。議決された意見書は、その内容に関係する政府機関等に送付され、奈良県議会としての考えを伝えることにしています。

今回決議された意見書は、①フランチャイズ(FC)法の制定を求める意見書。②子ども子育て支援新制度の充実を求める意見書。③地方財政の充実・強化を求める意見書。④子ども等に係る医療費助成と国保の減額調整措置の見直しを求める意見書。それぞれ社会の課題として取り組まなければならないテーマです。

県議会開会

平成二十七年六月二十二日第三百二十回の県議会が知事によって招集された。公報では、奈良県公報平成27年6月15日(月)号外第18号に奈良県告示第87号は平成27年6月22日定例県議会を奈良市に召集する。奈良県知事荒井正吾と記載されています。県議会は、議長の名によって招集するのではなく、知事名で招集されます。

今議会において、補正予算が提案されました。補正予算額は、百二十一億七千五百万円。

実質的な今年度の予算は、前年度の補正予算が、二月に提案され、ほとんどが今年度予算に繰り越されました。そして、同じ二月議会において、今年度予算が提案され今日に至っています。そのため今年度の一般会計の合計予算規模は、今回成立したものを含め、四千九百十四億八千五百万円になりました。平成二十六年年度の予算総額が、四千九百十七億円ほどであったことから、ほぼ同じ予算総額になる予定です。

南部・東部振興対策特別委員会県内調査



八月五日、(株)クリーンエナジー奈良の建設現場を調査しました。大淀町馬佐にプラントが建設中。投資総額は、約三十八億円。年間の売電量四万四千メガワットアワー。約一万二千世帯の消費量をまかなうことができるとの予定。年間の木材消費量は、七万トンで、間伐材を五十%、製材の端材やバークを三十%、その他の木材を二十%使う予定と聞きました。現在の木材業界でまかなえないときに備え、発電用の木材生産を準備する必要があります。ことから、今からその準備を進めたいとの説明もありました。プラントの完成は今年秋の予定と聞きました。その後、下市町の木工舎「richi」で、杉柁材の椅子、ベッドなどの取り組みを調査しました。